

2014年4月

プレスリリース

画家 岸田劉生の軌跡

油彩画、装丁画、水彩画などを中心に

2014年6月21日（土）—8月17日（日）



「村娘之図」1919（大正8）年

公益財団法人日動美術財団

笠間日動美術館

茨城県笠間市笠間 978-4

Tel 0296-72-2160 / Fax 0296-72-5655

<http://www.nichido-museum.or.jp>

拝啓

時下、皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より格別のご高配、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

この夏、笠間日動美術館では下記の通り「岸田劉生の軌跡 油彩画、装丁画、水彩画などを中心に」を開催いたします。当館では今日にいたるまで、コレクションの大きな柱のひとつである劉生作品の収集に力を注いでまいりました。この度は2009年以来5年ぶりの展覧となり、笠間において初披露となる16作品が加わります。つきましては、多くの方々にご来館いただきたくご取材・ご紹介などのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

■開催趣旨

岸田劉生（1891－1929）は、近代の日本美術において最も個性的な画家のひとりです。わずか38歳という短い生涯にもかかわらず、画家として極めて振れ幅の大きい道程をたどりしました。

17歳で白馬会の洋画研究所（赤坂葵橋研究所）で黒田清輝に外光派の画風を学びます。20歳の時、雑誌『白樺』の同人、武者小路実篤らとの交友によってゴッホやセザンヌを知り、多大な影響を受けます。この『白樺』における実篤との出会いが、劉生の人生に画期的な意義を生み出し、彼にとっての「第二の誕生」と言われています。1912年後期印象派に感化された若者たちのグループ「フェウザン会」を結成しますが、翌年には解散します。23歳で長女の麗子が誕生してから、愛情をこめて数多くの麗子像を描きました。その代り、自画像を描くことがめっきりと少なくなり、いわば麗子像は劉生の形を変えた自画像となっていきます。この頃から、デューラー、レンブラントからの「クラシックの感化」が強まりを見せ、精緻な写実を追求し、物や人物の存在を深く見つめる「内なる美」の探求に進みました。また数十人の同人により結成された在野の美術団体「草土社」のリーダーとして活躍し、日本画壇に大きな足跡を残しました。やがて大正時代の後半になると劉生は、宋元画や初期肉筆浮世絵、南画などの東洋的な美に心ひかれて、それらをみずからの芸術に反映させようと試みるようになりました。本展覧会では、《自画像》《麗子十六歳之像》《村娘之図》などをはじめとする数々の代表作に加え、麗子が随所に散りばめられた装丁画も展示し、油彩、水彩素描、日本画、版画作品等に関連資料などを含めた130余点により、劉生芸術の全貌をご紹介します。

■詳細

会期・会場 2014年6月21日（土） - 8月17日（日）企画展示館

開館時間 午前9時30分より午後5時（入館受付は4時30分まで）

休館日 毎週月曜日（但し7月21日は開館、22日は休館）

入館料・大人100円、大学・高校生700円、中学・小学生300円、65歳以上800円

- ・春風萬里荘（北大路魯山人旧居）との共通券：大人1,400円、大学・高校生900円、中学・小学生400円、65歳以上1,100円
- ・20名以上の団体は200円割引、中学・小学生は100円割引、障害者手帳をお持ちの方、その同伴者1名は半額割引

主催 公益財団法人日動美術財団

後援予定 茨城県／茨城県教育委員会／笠間市／笠間市教育委員会／NHK水戸放送局／茨城新聞社
朝日新聞社水戸総局／東京新聞水戸支局毎日新聞社水戸支局／読売新聞社水戸支局／
東日本旅客鉄道株式会社水戸支社

■会期中のイベント

・学芸員によるギャラリートーク

7月5日（土）、8月16日（土）

・水彩・パステル基礎講座

各日 10:00～15:00（1時間の昼休憩を挟む）

定員：30名（要予約）

6月21日（土）「樹木のフォルム（根と大地）」

7月19日（土）「クロッキー（人物）」

8月9日（土）「斜め向きの自画像を描く」

・1日画家体験 テーマ「モーリス・ユトリロ」

7月12日（土）

10:00～15:00（1時間の昼休憩を挟む）

定員：30名（要予約）

※各イベントの詳細はお問合せください。

■常設館特集展示

日本近代洋画への道 高橋由一と仲間たち

2014年5月31日（土） - 7月6日（日）

■交通案内

【JR利用】

・常磐線友部駅(9:50/10:50/11:50 発)より『かさま観光周遊バス』(100円) または市内循環バス約15分。「日動美術館入口」下車徒歩2分。

・水戸線笠間駅より徒歩約20分（日動美術館・春風萬里荘共、但し方向は逆）

・『かさま観光周遊バス』またはレンタサイクルの利用が便利です。

【自動車利用】

・常磐道友部JCT経由、北関東道友部ICより国道355号線経由約6km

・東北道栃木都賀JCT経由、北関東道笠間西ICより国道50号線経由約8km

■お問い合わせ先（担当：森／山口）

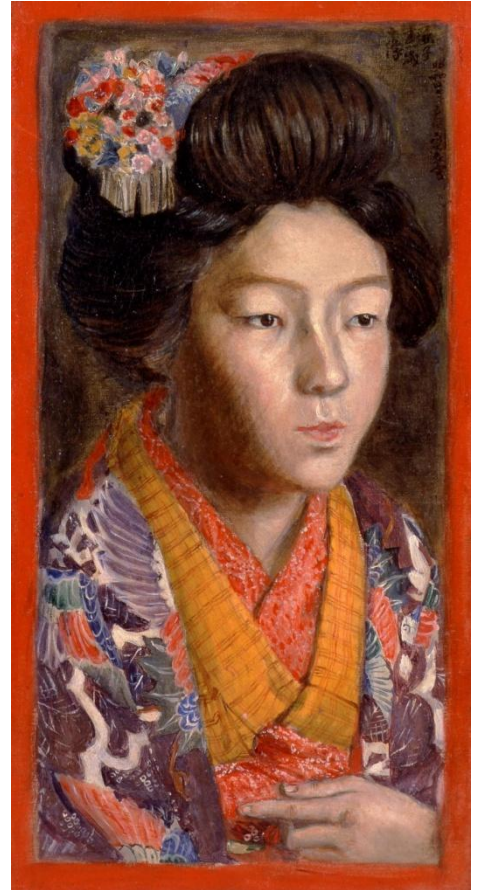
茨城県笠間市笠間 978-4

電話：0296-72-2160 Fax：0296-72-5655

URL <http://www.nichido-museum.or.jp>

Mail m-museum@nichido-museum.or.jp

以上



《麗子十六歳之図》1929（昭和4）年



《寒山風麗子像》1922 - 23（大正11 - 12）年